

5月3日(金)

誰も、ふたりの主人に仕えることはできない。

わたしがあなたにとって真の主人であれば、あなたは、ほかの誰よりもわたしを喜ばせたいと願うだろう。

もし、人に気に入られることを目的とするなら、あなたは彼らの奴隷になってしまう。

人は、あなたに及ぼすこの力を与えられると、過酷な主人となりかねないからだ。

もしもわたしがあなたの人生の主人であるなら、わたしは、あなたの初めのころの愛でもある。

あなたがわたしに仕えることは、わたしの限りなく大きな無条件の愛に根ざし、それを土台としている。

あなたがわたしの前で低く頭を垂れれば垂れるほど、わたしはあなたを高くし、わたしとの親しい関係に引き上げる。

わたしのもとで生きる喜びは、ほかのすべての喜びにまさって光り輝く。

わたしがあなたに望んでいるのは、わたしとさらに深い絆を築いていくこと、わたしの喜びの光をほかの人たちに反映す

ることなのだ。

-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-:+:-+:

【新改訳 2017】

マタイ 6:24

だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。あなたがたは神と富とに仕えることはできません。

黙示録 2:4

けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。

エペソ 3:16

どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。

エペソ 3:17

信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置

いているあなたがたが、

詩篇 16:11

あなたは私にいのちの道を知らせてくださいます。満ち足りた喜びがあなたの御前にあり楽しみがあなたの右にとこしえにあります。